令和4年度「郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名(西之表市立安納小学校)

			111111111		
事業	美 名	サトウキビについて知ろう 「サトウキビの出前授業」	実施時期	11月16日(水)	
趣旨又	地域の主産業である農業(さとうきび)についての学習を通して、自分の住む地域に親しみ、大切にしようとする気持ちを育てる。併せて、12月に実施するさとうきびのバガスを活用した紙作り(卒業証書作り:5・6年生実施)や、2月に実施するさとうすめ(黒糖作り:全児童参加)に対する意欲を高める。				
参力	川 者	本校の児童・職員 合計 21 名			
活 動	九州沖縄農業研究センターの方が講師で来てくださり「さとうきびはすごい!」というテーマで話をしてくださった。始めに収穫したばかりのさとうきびを配っていただき、その固さや甘みを味わった。その後、さとうきびは黒砂糖になるだけでなく、いろいろな食品に使われたりしていること、食品以外にもいろいろな活用方法があり、廃棄するところがほとんどないことなどを話してくださった。身近にあるさとうきびがいろいろなところに使われていることを初めて知り、子供たちは驚いたり関心を深めたりしている様子が見られた。				
			or .		





活動写真

【さとうきびを噛んでみる子供たち】

【さとうきびの茎や種の説明】

[説明]





【さとうきびの絞りかすからできたバガス】【さとうきびについて質問する子供たち】